

## 東北大学大学院リーディングプログラム学生

### 「認定式」挨拶文 2017. 4. 3

東北大学学位プログラム推進機構リーディングプログラム部門長の静谷です。2017年度の認定式の開催にあたり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

東北大学大学院リーディングプログラム、グローバル安全学トップリーダー育成プログラムに、第5期生となる14名、そしてマルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラムに第4期生10名の皆さんを本日こうしてお迎えできたことを大変嬉しく思うとともに、産学官で活躍できるグローバルリーダー養成という本プログラムに果敢に挑もうとする皆さんに敬意をもって心より歓迎いたします。

これから始まる皆さんの大学生活は、所属する大学院各研究科での学修に加えて、プログラムとしての学修・研修もこなす必要があるため、特段の勤勉さが求められる日々になるかと推察されます。ぜひそれぞれのプログラムの仲間と、ときには別のプログラムの学生と熱い議論を重ね、主体的に学び合い、皆さん自身が思い描く将来のリーダーのあるべき姿を共有し、それぞれの個性を活かしながらその姿を実現していただきたいと思います。

ところで、本年は東北大学創立110周年の節目であると同時に、我が国に博士という学位の制度が導入されて130周年の節目となる年でもあります。明治20年、1887年5月21日、勅令第13号として「学位令」が公布されました。それから第二次学位令が公布されるまでの10年間で、博士の学位を授与された者は139名でした。ちなみに、そのうち課程修了に相当する者は7名に過ぎず、ここにおられる皆さんよりも少数でした。その後、多くの制度的変遷を経て現在があるわけですが、博士に対する尊敬の念ほどには社会と博士との関係は順風満帆ではなかったのは事実であり、それゆえにこのプログラムが存在するとも、逆説的に言えます。

このプログラムにより「博士」の学位を授与された皆さんが将来、博士に対するこれまでのステレオタイプを粉砕し、真に尊敬されるグローバルリーダーとして社会のあらゆる場面において活躍し、日本だけでなく世界全体の課題解決と発展に貢献できる人材となることを最後に願って、またそのための努力を怠らない皆さんを大学が全力で支援することをお約束して、ご挨拶とさせていただきます。

2017年4月3日

リーディングプログラム部門長

総長特別補佐（教育改革担当）

静谷 啓樹